

プレスリリース

2016年12月9日

クレディ・スイス、「2016年度グローバル・ウェルス・レポート」

2016年の世界の富の成長は依然低迷、アジア太平洋地域は最も高く4.5%増 日本は国別で最も高い伸び率、総額3兆9,000億米ドルの富の増加を達成

クレディ・スイスはこの度、世界の富に関する包括的な調査レポートである「2016年度グローバル・ウェルス・レポート」を発行しました。今回で第7版となる本レポートによると、2016年の世界の富の成長は総じて依然低迷しています。この傾向は2013年から継続しており、2008年の世界金融危機前に見られた二桁成長とは非常に対照的です。中期的にも緩やかな加速しか予想されていません。

日本に関する主な調査結果

- 日本は国別で前年に比べ最も高い伸び率を示し、総額3兆9,000億米ドルの富の増加を達成。2番目に伸び率が高かったのは米国で、1兆7,000億米ドルの増加。
- 日本のミリオネア(資産総額100万米ドル超の富裕層)の数は2015年の2,088,000人から増加して2016年には2,826,000人。738,000人増は世界最大の増加数。世界2位を維持。
- 日本の超富裕層(純資産が5,000万米ドル超)の個人は世界最大の伸び率で3,600人まで増加。現在世界第6位。
- 日本の富は2016年半ば時点で、主に円高効果により19%増の24兆米ドルとなった。日本の株式市場の時価総額は減少したが、住宅価格の上昇により相殺されている。
- 日本のジニ係数は63%で、他のどの主要国よりも平等に富が分布。
- 今後5年間で、日本の富は15%増加して28兆米ドルに、ミリオネアの数は27%増加して3,602,000人に達すると予想。2021年のミリオネアの数で世界2位を維持する見込み。
- 日本の過去の富の増加には目覚ましいものはない。日本の成人一人当たりの富は21世紀に入った時点での191,900米ドルから現在まで米ドルベースで20%増、円ベースでは7%しか増加していない。

クレディ・スイス証券株式会社プライベート・バンキング本部のCIO ジャパンである松本聡一郎は次のように述べています。「世界の富は2008年に減少しましたが、それ以降は徐々に増加するトレンドでした。しかし、そのペースは金融危機前よりも遙かに遅く、長期的な停滞に向かう様相を強くしています。英国におけるブレグジットの投票や米大統領選の影響によって世界が多極化に向かっていることが確認されました。このため世界の富の低い成長トレンドは悪化する可能性が高いと言えます。より低い富の成長が『新たな標準』となるかもしれません。日本では過去に、金融資産の価格と住宅価格が共に堅調に上昇したことがないため、家計のポートフォリオにおける金融資産の相対的重要性は結果としてほとんど変化していません。ミリオネアの数に関して日本は依然、米国に次ぐ第2位を維持していますが、2000年以来、米国との差は拡大しています。」

2016年の世界の富は1.4%、すなわち3兆500億米ドルの微増で、総額256兆米ドルとなりました。この増加率は世界の成人人口の伸びと一致しています。したがって、成人一人当たりの平均的富は52,800米ドルと変化していません。世界の富の総額は、為替レートを一定と仮定すると3%増加して

おり、増加率は近年低下しています。レポートでは、為替変動による悪影響に焦点が当てられています。これによってアジア太平洋地域を除くあらゆる地域で富が減少しました。加えて、株価と市場の時価総額の下落も、家計の金融資産による富の増加が相対的に小さくなる原因となりました。

国別で見ると、日本は最も高い伸び率を達成し、富の総額は 3 兆 9,000 億米ドル増加して 24 兆米ドルになりました。次に大きく増加したのは米国で 1 兆 7,000 億米ドル増の 85 兆米ドルとなっています。英国は、為替レートと株式市場の急落の引き金となったブレグジットの投票に反応して 1 兆 5,000 億米ドル減少しました。

表 1: 家計の富の総額の変化、2015 年半ば～2016 年半ば、地域別
 (完全な表についてはレポートを参照のこと)

地域	2016 年の富の総額 (単位:十億米ドル)	富の総額における変化 (単位:十億米ドル)	変化率(%)
アフリカ	2,503	-132	-5.0%
アジア太平洋地域*	79,955	3,415	4.5%
欧州	73,305	-1,300	-1.7%
ラテンアメリカ	7,561	-322	-4.1%
北米	92,381	1,796	2.0%
世界	255,708	3,455	1.4%

*このプレスリリースにおける「アジア太平洋地域」には中国とインドも含まれています。

注: 現在の米ドルベース

出所: James Davies, Rodrigo Lluberas, Anthony Shorrocks, クレディ・スイス・グローバル・ウェルス・データブック 2016

アジア太平洋地域は 4.5%増

2016 年にアジア太平洋地域の富は 4.5%、すなわち 3 兆 4,000 億米ドル増加し、80 兆米ドル近くとなりました。これは主として、対米ドルでの円高により、日本が 19%の大きな拡大を記録したからです。しかし円ベースで見ると日本の富の総額は横ばいで、先立つ 5 年間に見られた伸びと比較して減速しています。中国とインドは不利な為替変動による損失を被ったため、家計の富はそれぞれ 2.8%および 0.8%減少し、23 兆米ドルおよび 3 兆米ドルとなりました。これは、現地通貨建てでは 4.1%および 5.1%の減少となります。同地域の他の主要経済国の富は、オーストラリアは-0.2%とほぼ変わらず、韓国は 1%増となりました。

国の富: 2016 年半ばにおける、成人一人当たりの平均的富の上位 10 カ国(米ドル建て)

成人一人当たりの富の中央値に関して最も豊かな国の順位を見ると(表 2)、スイスが 1 位、日本は 6 位です。上位 10 カ国のうち 7 カ国は、2016 年の成人一人当たりの富の中央値が 2015 年よりも減少しました。

表 2: 2016 年半ばにおける成人一人当たりの富の中央値が高い上位 10 カ国(米ドル建て)

順位	国	2016 年半ばにおける成人一人当たりの富の中央値(米ドル建て)	2015 年半ば以降の変化(%)
1	スイス	244,002	-5.4%
2	オーストラリア	162,815	-1.8%
3	ベルギー	154,815	2.8%
4	ニュージーランド	135,755	14.0%
5	ノルウェー	135,012	-5.6%
6	日本	120,493	19.2%
7	英国	107,865	-10.6%
8	イタリア	104,105	-4.1%
9	シンガポール	101,386	-2.6%
10	フランス	99,923	-1.3%

出所: James Davies、Rodrigo Lluberas、Anthony Shorrocks、クレディ・スイス・グローバル・ウェルス・データブック 2016

グローバル・ウェルス・レポートで取り上げられている主要なテーマは以下の通りです。

富に関する見通し

- 富の増加率は低下するも、今後緩やかに加速すると当社は見ており、富の総額は 2021 年までに 31%増加(年率 5.5%)し 334 兆米ドルに達すると予想。
- 米国は今後も成長のエンジンとなる見込みで、米国の富の総額は 28 兆米ドル増加して 2021 年には 112 兆米ドルとなり、世界の増加分の 3 分の 1 以上を占めると予想される。
- アジア太平洋地域の富は年間 6.3%増加し、2021 年までに 109 兆米ドルに達する見込み。
- 中国の富は今後 5 年間力強い上昇軌道を維持し、55%(年率 9.2%)増の 36 兆米ドルになると予想。
- 富の増加率では、発展途上国は先進国のペースを上回る可能性が高いが、今後 5 年間の増加分の 3 分の 1 未満を占めるに過ぎない。途上国は現在、世界の家計の富の 18%前後を占めている。この比率は 2000 年時点の 12%から上昇した。
- 中国は途上国経済の予想成長率の半分以上、インドは 7%以上寄与すると予想。

ミリオネアのトレンドは、アジア太平洋地域の伸び率が最高となる見込み

- 世界各地のミリオネアの数 は 2016 年には 1.8%増加して 3,300 万人となった。2021 年までには年率 6.5%増加して 4,500 万人に達すると予想される。超富裕層(UHNW)(純資産 5,000 万米ドル超)の個人数は 3.9%とより速いペースで増加しており、2016 年の 141,000 人から年間 8.1%増加して 208,000 人に達すると予想される。
- アジア太平洋地域のミリオネアの数 は 10.3%とさらに速いペースで増加して 780 万人に達した。今後 5 年間は年率 7.8%増加して 2021 年には 1,140 万人に達すると予想される。
- アジア太平洋地域における UHNW の数は 2016 年には 8.8%増の 32,000 人となった(2000 年以降 100 倍に増加した中国の 11,000 人を含む)。同地域の UHNW は今後 5 年間で 17,000 人増加して 49,000 人に達すると予想され、その 39%は中国(現在は 34%)の増加になると見られている。

表 3: 2016 年および 2021 年の地域別のミリオネアの数

地域	人数(単位:千人) 2016 年	人数(単位:千人) 2021 年	変動(%)
アフリカ	136	196	44%
アジア太平洋地域*	7,814	11,401	46%
欧州	9,804	13,007	33%
ラテンアメリカ	502	708	41%
北米	14,678	19,747	35%

出所: James Davies, Rodrigo Lluberas, Anthony Shorrocks、クレディ・スイス・グローバル・ウェルス・データブック 2016、クレディ・スイス・リサーチ

富のピラミッド

- 富の保有に関する議論は最上位層について行われることが多いが、グローバル・ウェルス・レポートはより完全かつバランスのとれた全体像を提供し、富のピラミッドの各階層についても、それぞれが興味深いと主張している。
- その理由の一つは、富のピラミッドにおけるこれらの部分の純粋な規模とその政治的な影響力である。レポートでは、2016 年には 44 億人の個人(世界の成人の 90%超)が 100,000 米ドル未満の富の階層にいと推定されている。それらをあわせた富は 35 兆米ドルとなり、非常に大きな経済的機会となり得るが、しばしば見過ごされている。これらの資産所有者のニーズに対処することで、消費財産業と金融産業両方に新たなトレンドが生まれる可能性がある。
- 中国、韓国、インドネシアは、個人が富のピラミッドを急速に駆け上がっている国の好例と言える。中国は現在、10,000 米ドルから 100,000 米ドルまでの階層が 33%を占めているが、これは 2000 年時点での 16%から倍増している。
- ピラミッドの中・低位層は重要ではあるが、民間資産のフローと投資トレンドの主要な原動力となるのは引き続き上位層(富が 100,000 米ドル超)となるだろう。

編集者に関する注記

- このプレスリリースにおける「アジア太平洋地域」には中国とインドも含まれています。
- 本レポートでは純資産または富を、金融資産に実物資産(主として不動産)を加えたものから家計の負債を引いた額と定義しています。
- このレポートに表示されている数字は、家計の資産と債務について入手可能な最良のデータに基づいており、必要に応じて推定および更新されています。
- 2014~2016 年のデータは年半ばに関する数値であり、それ以前のデータは年末の数値です。
- 別途指示がある場合を除き、数字は名目ドル建てで表示されており、インフレについて調整されていません。

クレディ・スイスのグローバル・ウェルス・レポートについて

クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートが発行したグローバル・ウェルス・レポート第 7 版は、世界の家計の富について入手可能な最も包括的かつ信頼のおける情報を提供しています。経済活動に対する世界の家計の富の重要性にもかかわらず、家計の富の水準と分布、両方に関するデータは驚くほど不完全です。本レポートは公表済みの情報と、データが存在しないものに関する入手可能な最良の推定を組み合わせることで独自のデータベースを構築することにより、そのギャップを埋めることを目指しています。グローバル・ウェルス・レポートは、富のピラミッドの上位層の億万長者から、研究で見過ごされがちな中・低位層まで、200 を超える国々の 48 億人の成人が保有する富に関するデータから構築されています。長年の分析によって確立された堅固な方法論により、グローバル・ウェルス・レポートの基となる情報源とその質についても、透明性の高い情報が提供されています。

クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートについて

クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートはクレディ・スイス社内のシンクタンクです。このインスティテュートは 2008 年の金融危機後に、金融サービス業界内および金融サービスを越えた世界的な影響を持つ(または持つことが約束される)長期的な経済発展を研究する目的で設立されました。詳細情報につきましては、以下をご覧ください。www.credit-suisse.com/researchinstitute.

「グローバル・ウェルス・レポート 2016」(英語)については、こちらをご覧ください。www.credit-suisse.com/gwr 情報源および方法論に関する詳細な情報もグローバル・ウェルス・データブック 2016 に記載されています。

本件に関するお問い合わせ先

クレアブ株式会社 電話: 03-5404-0640

クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開しています。アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界 50 ヶ国以上に拠点を持ち、約 47,180 人の従業員を有しています。クレディ・スイスの本拠地はチューリッヒで、世界各地にある複数の事業法人で構成されています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式 (CSGN) はスイスおよび米国預託証券 (CS) としてニューヨークで上場しています。日本語サイトは、<https://www.credit-suisse.com/jp/aboutus/ja/index.jsp>、グローバルサイトは、www.credit-suisse.com.